

来場約5千人「神楽フェスティバル」賑わう



▲天の舞【てんのしめ】（中江岩戸神楽）

同時開催の第5回ジャンボかぼちゃ大会は、例年をはるかに越える326個（品種：アトランティックジャイアント）が出品。オレンジの大玉がずらり並んだ様子に思わずシャッターを切る観客の姿がよく見られました。優勝重量は113kg（竹田市の長谷さん作）。また、会場周辺では地元商工会の屋台や神楽苑内直売所の新鮮野菜や郷土料理が喜ばれ、波野をPRする一大イベントが今年も好評を得て無事終了しました。

なお、神楽殿で4月から11月の第1日曜に行われている定期公演も11月6日が最終日ですので、ぜひ、おこしてください。



▲八雲払い【やくもばらい】（横堀岩戸神楽）

100歳のお祝いに 総理大臣から祝状

10月17・18日、今年度阿蘇市で100歳を迎えられる方7人に長寿を祝って内閣総理大臣から祝状が贈られました。

贈呈には、県職員が入院先などを訪問。阿蘇地域振興局保健福祉環境部の河津部長や別府福祉課長が祝状を読み上げ「本日はおめでとうございます」と手渡しました。

本年度100歳を迎えられた方は次のとおりです。

津江 マツエさん（南黒川） 高宮 アツヲさん（内牧5区）
岩下 ツルエさん（折戸） 井島 義高さん（車帰）
福田 カナエさん（古神3区） 本田 ミツルさん（南黒川）
坂本 キミエさん（折戸）



おじちゃん、 おイモありがとう!!

阿蘇ライオンズクラブ（森勇三さんほか42人）は、毎年、メンバー（荒木喬さん）のサツマイモ畑に子どもたちを招待しています。

10月11日は阿蘇中央幼稚園の園児を招待。小さな手で土を掘り、芋を見つけると最高の笑顔で喜ぶ姿にメンバーの方々も満足の様子でした。

収穫したイモは、みやま荘と上寿園にプレゼントしました。



宿泊施設や飲食店に 「阿蘇の産物もっと使って!!」

「阿蘇の農産物をもっと知って！使って！」をテーマに生産者と飲食に携わる事業所、双方をつなぐ物産館とが意見を交換する「第1回聴く・見る・食べるアグリノミーティングIN阿蘇」が10月6日、県阿蘇地域振興局の主催で行われました。



▲はな阿蘇美に野菜を出荷している本田 勇さん(黒流町)のハウスで行われた現地視察

参加した46人は生産者のハウスを視察した後、農産物直売所を持つ「はな阿蘇美」で現場の声も交えて意見の交換を行い、旅館側の「私たちはお客さんに阿蘇を満喫してもらうため地元農産物を豊富に使いたい。しかし何度も農家と取引しましたが、安定した供給が行われなかった」との意見に、生産者側は「旅館や物産館が多品種の野菜が安定的に入荷されないに困る状況がわかった、天候にもよるが今後の課題とし取り組む」。物産館側は「阿蘇にはたくさんの物産館があるので不足の野菜を物産館同士で補給しあうなど連携を取っていこう」と述べるなど阿蘇産物の消費拡大に向け有意義な会合となりました。



どこに届くかな？

～園児がふうせん飛ばし～

阿蘇市公民館坂梨分館(中川竹久分館長)と坂梨保育園が、園児の思い出づくりに8年前から行っている「ふうせん飛ばし」が、10月6日に行われ、全園児で70個のふうせんを飛ばしました。

園の住所と園児の名前が書かれたカードが付いたふうせんが、一斉に空へ放たれると園児たちは「バイバイ」「がんばって！」と大きな声でふうせんを見送り、いつまでも手を振っていました。

このふうせん飛ばし、遠くは徳島県や鳥取県などから、今までに50通程の返事が届いているそうです。



生徒・PTA・同級会が一丸に美化作業

阿蘇を訪れる人に美しい阿蘇を見せよう、また日頃利用する場所を美しくしようと阿蘇清峰高校同窓会主催により生徒会、PTAら約60人による美化作業が10月16日行われました。今年で2年目。

この日は汗ばむ陽気でしたが、北外輪山沿線、「あびか」から学校農場、駅など広範囲に及ぶゴミ拾いをされました。ご苦労様でした。

国際食肉製品コンテストでメダルを獲得

～ 池田智巳さん ～



10月2～4日、ドイツのシュツットガルトで開催された第14回国際食肉製品コンテスト(2年に1度開催)に食肉加工業の池田智巳さん36歳が出場し、優秀な成績を収めました。

伝統ある大会には各国から930社(日本からは43社)が出場。審査は味や香りなど200項目の減点方式で行われ、池田さん手作りのベーコン、ウィナーが金メダルにハムが銅メダルに輝きました。

父親の源喜さん(68歳)が、阿蘇清峰高校教諭時代にハム製造を指導していた関係で幼いころから手作りハムを食べていたという池田さん。この味を残していきたくて半導体の会社を6年前に辞め、中通にある加工所を継ぎました。今回の出場に「親父の味を受け継いだけど、本場ドイツの専門家に通用するか試してみたかった。ドイツに来て一番感じたことは、食材を大切に使うドイツ人の食に対する考え方。今の日本人に欠けているものを実感し、これからの自分への課題になった」と技術面だけでなく精神面でも大きな飛躍をとげた池田さん、インパクトのある味と人柄が今後も楽しみな職人さんです。

地域の食文化を伝承する「くまもとふるさと食の名人」の本年度認定委員会が、9月29日熊本テルサ(熊本市)であり、阿蘇市から推薦された佐藤郁子さん(赤仁田)が新たに認定されました。

これは、伝統料理について卓越した知識、経験、技術等を有し、伝承活動に取り組んでいる人を県が認定し、それぞれの地域で普及啓発活動、地産地消を推進してもらおうというもので、阿蘇市では5人目の名人誕生です。日頃から生活研究グループで活躍中の佐藤さん、今後も阿蘇ならではの食文化の普及活動に力を注がれます。

そばコロッケ ▶

=作り方=ジャガイモの代わりにそばを使ったものです。そばを硬めにゆでてコロッケの長さに切る。ひき肉、たまねぎを炒め塩コショウで味付けしたものと混ぜ合わせ、おろした山芋(固め)でつなぎ丸め、衣をつけ揚げる。



特産品を丸ごと揚げた「そばコロッケ」県下にアピール



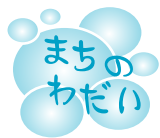
▲県内各地から名人候補者19人が出品した自慢料理を潮谷県知事や料理研究家の池辺美恵子先生らが審査。写真は佐藤さん(左)と知事。

～甘いおいしい特産物～

阿蘇産いちごの出荷が始まりました。

県下のトップをきって、阿蘇産いちごが市場に出ました。10月21日にJA阿蘇青果物集送センター第一便となったのは「さがほのか」という品種で関東方面に出荷。これから5月末まで「とよのか」「さちのか」の3品種の収穫が阿蘇中部いちご部会(77人)により行われます。いちごは阿蘇でたくさん生産されており昨年も140万パックを出荷しています。





～余暇時間を利用して子どもの好奇心伸ばそう～

生涯学習講座に小・中学生がトライ

市では、学校の完全週5日制による子どもたちの余暇時間を利用して、子どもたちの活動の場を作ろうと、10月から12月にかけて「阿蘇市土曜子ども体験講座」を実施しています。

事前に応募があった市内の小・中学生を対象に、絵画やリフレッシュヨガ、染色など14種の講座を開設しています。「昔の子どもは家の仕事におわれ、こんな体験はできなかった。皆さんは恵まれた環境にいますから、いろんなことを身につけてください」との講師の話聞き、子どもたちは熱心に思い思いの講座を体験しました。

好評につき、市では今後、校区単位で実施できるよう計画しています。



保育所ボランティア活動の日

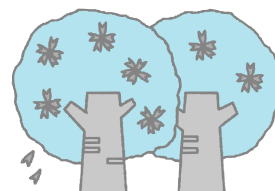
幼児期から、ボランティアの大切さを学び、地域に奉仕することの重要性を認識するため、また、「第14回全国ボランティアフェスティバル火の国くまもと」の協賛事業として、10月18日「県下一斉熊本県保育所ボランティア活動の日」が行われました。

阿蘇市からも各保育園の園児や保護者が参加。それぞれの園の近くや公園の清掃活動を行いました。

桜の苗木を毎年贈ります

池上良昭さん・ケイ子さんご夫妻は熊本市から2年前に阿蘇市に移られ、現在、内牧のケアハウス「茶寿苑」にお住まいです。

「苑のベランダから毎日眺める阿蘇五岳は見事。これに桜の花でも加われば、ほとんどを静養で過ごす苑の人たちも心なごむだろう」と苑前の市総合センターの公園に毎年苗木を10～20本植栽することを計画。新市と新市長誕生を記念し今年から始められました。



植栽を市長が手伝ったことに感激した池上さんは「阿蘇市に来て以来、いつも市の活性化を祈っています。桜の寄贈は私が亡くなるまで続け、地域に花を残したいと思います」と語られ、苗木の成長を毎日眺め楽しまれています。

主な結果は次のとおりです。

- 総合 阿蘇郡市総合14位 女子の部 14位
 馬術 3位
 陸上 男子30～39歳以下砲丸投
 1位 岩永 知巳(14m62)
 水泳 男子25歳以上50m平泳
 3位 松本 武
 男子25歳以上50m自由形
 3位 ジェイミー・マッキー

県民体育祭 阿蘇市から188人が出場

～岩永知巳さん(36歳、黒流町)砲丸投で優勝～

第60回熊本県民体育祭が9月17・18日、人吉市などで開催され、各競技の阿蘇郡代表として、阿蘇市から188人が出場し活躍しました。

テコンドー競技で大活躍

テコンドー競技の全国大会、九州大会が行われ、阿蘇市からも優秀な選手が出場。好成績を収めました。

結果は次のとおりです。

＝全日本テコンドーフェスティバル＝

7月24日開催(大阪府)

- 中学生男子の部 優勝 中山 北斗(阿蘇中3年)
 一般女子中級の部 優勝 井手 沙耶花(分2区)
 中学女子の部 2位 本田 千尋(阿蘇北中1年)
 小学女子の部 3位 本田 涼夏(内牧小5年)

＝第16回全九州テコンドー選手権大会＝

9月19日開催(沖縄県)

- 小学3・4年男子の部
 優勝 西村 純(宮地小4年)
 小学5・6年男子の部
 優勝 津田輝史朗(宮地小6年)
 中学男子の部
 優勝 中山 北斗(阿蘇中3年)
 小学女子軽量級
 優勝 山本くるみ(宮地小4年)
 小学女子重量級
 2位 本田 涼夏(内牧小5年)
 中学女子の部
 優勝 津田ひかる(阿蘇中2年)
 3位 古閑 聖佳(一の宮中3年)
 優秀賞 西村 純(宮地小4年)



▲ソフトバレーの部
1位のボンバーズ1



▶
エ1ミ
ニ位
のバ
レ
エ
レ
ラ
ズ
の
ク
部

スポーツで市民交流

阿蘇市誕生を記念した第1回阿蘇市民スポーツ大会(ミニバレーボール・ソフトバレーボール)が10月8日、阿蘇体育館で開催されました。

早朝から集まった選手を前に最高齢者選手坂梨文男さん(78歳)が選手宣誓。市長の応援団顔負けのコールで競技がスタートし、ミニバレー27チーム、ソフトバレー12チーム約300人が体育指導員の協力のもと日頃の練習の成果を発揮しました。

結果は次のとおりです。

- | | |
|---------------|-----------|
| ミニバレーの部 | ソフトバレーの部 |
| 1位 ブラックエンジェルズ | 1位 ボンバーズ1 |
| 2位 プラタナス | 2位 ボンバーズ2 |
| 3位 ヤングパワーズ | 3位 トマホーク |

「県高校空手道新人戦」 阿蘇市で熱戦

平成17年度熊本県高等学校空手道新人大会が全九州大会出場予選を兼ね、10月15・16日、阿蘇体育館で開催されました。

地元阿蘇高校をはじめ県内から男子29校、女子12校の選手が集い、形や組手の競技を練り広げ、高校生パワーみなぎる大会となりました。

平成11年くまもと国体で空手会場となって以降、阿蘇市で空手道が活発になりました、今大会も毎年阿蘇市での開催が予定されています。





稲刈り体験で 阿蘇の農業を学習

市内の各小学校では、授業で地域の産業学習に取り組んでいます。

写真の波野小学校では学習田(楢木野和幸さん所有8a)で、5年生が農家やPTA役員の協力で稲刈りを体験。収穫したもち米でのもちつきも楽しみのようでした。

各校区の学校田にご協力いただいた皆さんありがとうございました。

阿蘇市の皆さんよろしくお願ひします

中国からの農業研修生です

JA阿蘇では、「農業作業員不足で困っている」との組合員の要望で、中国など海外からの農業研修生受け入れを行っています。現在阿蘇に15人の研修生が来ており、うち13人が阿蘇市で仕事をし生活をしています。研修生の年齢は18歳から23歳。研修期間は3年間です。

写真はJA阿蘇波野支所キャベツ部会で研修している6人で、12月からはイチゴの収穫作業へ移ります。「中国へは3年間帰らず頑張ります。まだ、日本語も勉強中ですので、地域の皆さんよろしくお願ひします」と、研修生。「とにかくよく働いてくれます」と高齢化した地域の農家の一役を担っています。



阿蘇品選手 世界ハーフ 日本人でトップ

10月1日カナダで行われた世界ハーフマラソン選手権に日本代表で出場した阿蘇品照美選手(京セラ所属 一の宮中出身)は、1時間11分45秒で12位、日本代表選手では1位(2位は大南博美選手)と健闘しました。

これから長距離シーズン、走るセンスが光る阿蘇品選手の応援をお願いします。

日本拳法高校新人戦 で阿蘇清峰高校優勝

第2回熊本県高等学校日本拳法新人戦大会が10月15日行われ、阿蘇清峰高校が優勝しました。

また、第2回熊本県日本拳法ジュニア選手権大会も、同日開催され、阿蘇市から阿蘇健志会(代表：山本孝博)が会場へ出場し健闘しました。同会は、これまでも全国大会等へ出場し優秀な成績をおさめています。

結果は次のとおりです。

＝第2回熊本県高等学校日本拳法新人戦大会＝
団体の部 優勝 阿蘇清峰高等学校
段外の部 優勝 古里昌之(阿蘇清峰高校)
3位 二子石裕磨(阿蘇清峰高校)
有段の部 2位 興 柁 正 幸(阿蘇清峰高校)
3位 中田雄馬(阿蘇清峰高校)

＝第1回熊本県日本拳法社会人選手権大会＝
優勝 後山真太郎(阿蘇清峰高校)
2位 吉富信作(阿蘇清峰高校)

＝第2回熊本県日本拳法ジュニア選手権大会＝
小学2年男子の部 3位 北窓 正悟(内牧小)
小学3年男子の部 2位 谷口 毅(碧水小)
3位 谷口 匠(碧水小)
小学5年男子の部 2位 山本 雅進(阿蘇西小)
3位 梅井 航(阿蘇西小)
小学6年男子の部 2位 中野 颯大(阿蘇西小)
中学1・2年男子の部 2位 松村 紘尚(阿蘇北中)
3位 永富 拓真(阿蘇北中)